

健康管理は検診で！ 各種検診はお早めにご予約ください！ 受付時間 9:00～17:00 ☎ 0742-43-3333

予約不要	大腸がん検診	対象年齢	40才以上	申込方法	①受付にて市から送付される受診票をご持参頂き、検診料をお支払ください。②検体採取用の容器をお渡しいたします。③後日検体を提出頂いた際に、結果説明日(診察日)のご予約をお取りします。
予約不要	胃がん検診	対象年齢	50・52・54・56・58・60才限定	申込方法	受付時間・・・8:30～11:30(日・祝除く) ①受付にて市から送付される受診票をご持参頂き、お申込みください。②診察を受けて頂き、検査日のご予約をお取りします。
予約必要	胃がんリスク検診	対象年齢	40・45・50才限定	申込方法	①まずは奈良市健康増進課(0742-34-5129)にお問い合わせください。②市から必要書類を受け取って頂いた後、お電話にてご予約ください。※「胃がんになりやすさ」を調べる検査です。胃がんかどうかを診断する検診ではありません。
予約必要	特定健康診査	対象	40才以上 ※会社からor市から受診券が発行された方	申込方法	予約制・受診券持参
予約必要	特定保健指導	申込方法	予約制・利用券必要		

参加費無料 2019年度 糖尿病教室(公開講座)受講者募集! どなたでもご参加OK!

会場 西奈良中央病院2階会議室
時間 14:00～15:30(受付 13:45より)
必要な物 筆記用具、計算機、(糖尿病交換表・糖尿病手帳)
申込先 担当栄養士 小池・池田まで TEL0742-43-3333
教室参加者には血糖測定を実施しています!!

第3回 7月13日(第2土曜日)
 糖尿病と腎臓 ～糖尿病性腎症について～
第4回 8月17日(第3土曜日)
 糖尿病と心疾患 ～心筋梗塞と狭心症にならないために～
第5回 9月21日(第3土曜日)
 糖尿病性網膜症について
 糖尿病の合併症 ～足の病気って?足を守るには?～

社会医療法人 松本快生会

西奈良中央病院 救急告示病院24時間体制
 〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-15
 ☎ 0742-43-3333 FAX 0742-43-8607
<http://www.nishinarachuo.or.jp>



診療時間 9:00～12:00(受付時間 8:30～11:30)
休診日 日曜日・祝日・年末年始
面会時間 月曜日～土曜日…13:00～19:00
 日曜日・祝日…10:00～19:00

介護老人保健施設 大和田の里
 〒631-0056 奈良市丸山2丁目1220-163
 TEL:0742-51-6003 FAX:0742-51-6013
 ●入所サービス ●短期入所療養介護
 ●通所リハビリテーション
 ●収容入所者数:82名(短期入所者を含む)
 ●収容通所者数:20名

西奈良中央病院附属 丸山診療所
 (大和田の里内に併設)
 TEL:0742-51-7336 FAX:0742-51-7128
診療科目 内科・循環器科
診療時間 9:00～12:00
休診日 火曜日・日曜日・祝日・年末年始

訪問看護ステーション なでしこ
 〒631-0041 奈良市学園大和町5-16SEビル1F
 TEL:0742-47-6012 FAX:0742-47-6267

訪問看護ステーション さわやか
 〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-16マツヨシビル2F
 TEL:0742-40-1600 FAX:0742-40-1601

西奈良中央病院 ケアプランセンター
 〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-16マツヨシビル2F
 TEL:0742-43-3013 FAX:0742-43-3731

こぐま保育園
 〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-16マツヨシビル1F

※7:15～8:15 一部通行止区間がございます。

こころと心をつ結び信頼と安心をお届けする情報誌

ご自由にお持ち帰りください。

はあ〜と通心

2019 夏号 No.43

「心の医療」をもって地域住民に貢献する。

西奈良中央病院の基本方針

- 奈良市西部地域の中核病院として、地域の医療・介護・福祉施設と連携を密接にし、地域包括ケアシステムの構築を目指すとともに住民の生命を守り、健康の増進を図ります。
- 私たちは、地域に住む人々に、医療における安全を重視し、信頼と安心を提供できる病院を目指します。
- 私たちは、「病気を診るだけでなく人を癒す病院」として患者様とご家族の心を思いやり、共に考え、患者様中心の医療を目指します。
- 私たちは、地域住民が安心して暮らせるよう、救急医療体制の充実を図ります。
- 私たちは、自己研鑽に励み、全職員が一丸となってチーム医療を実践し、良質な医療の提供に努めます。
- 私たちは、優れた医療人を育成し、明るく働きがいのある病院を創ります。



診療科の案内

血液浄化センター

当センターは、地域の透析医療のニーズに対応し、県下有数の規模を誇る全80基の人工透析装置を配置しています。また各科の専門医と連携し、合併症への対応や入院・検査がスムーズに行える万全の体制を整えました。

【オーバーナイト透析も行っています。】

オーバーナイト透析とは、夜間の睡眠時間を利用して7～8時間透析をすることです。透析時間を十分確保できるため体への負担が少なく、十分な毒素の除去による血圧の安定化や、貧血の改善など多くの効果が期待できます。また、夜間の睡眠時間を利用することで日中は仕事や趣味の時間に使うことができます。

詳細については当センターまでお気軽にお問い合わせ下さい。



公益財団法人日本医療機能評価機構認定 人間ドック健診施設機能評価認定

社会医療法人 松本快生会 西奈良中央病院

〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-15 TEL 0742-43-3333 HP <http://www.nishinarachuo.or.jp>

バリウム検査について

この検査では、胃がんや胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃ポリープ・胃炎などを早期に発見し治療することを目的としています。年に一度は胃の検査を行うことをオススメします。

検査前に…

検査前には時計・メガネ・ネックレス・ブラジャー・貼付剤
磁気治療器等は、はずして下さい。

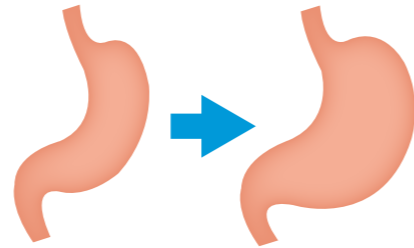


検査内容

1.発泡剤を飲みます。

炭酸ガスで胃をふくらませるためです。

ゲップが出そうになりますが、出来るだけガマンしてください。ゲップが出そうなときは、つばを飲み込み空気も一緒に飲み込むようにして下さい。(ゲップが出た場合は、追加する場合があります。)



2.バリウムを飲みます。

以前より少量になり飲みやすくなっています。あわてて飲むと気管にバリウムが入ることがあります。指示に従って落ち着いてゆっくり飲んでください。



3.撮影を行います。

検査中は体位をさまざまに変えますが、落ち着いて指示をよく聞いてください。

胃の壁に良く付着するように右・左に向いたり、うつぶせ・あおむけになったりします。また、台が頭側に下がる事がありますので、すべらないように手すりをしっかり持って肩あてに肩をしっかりと当ててください。

検査後

- バリウムによる便秘を予防するために下剤を飲んでください。
- バリウムが長時間腸内に残っていると、水分が吸収されて固くなり排泄しにくくなります。検査当日はできるだけ多くの水分をとってください。



定期検診で健康チェックをしましょう。



夏期に注意したい病気「とびひ」

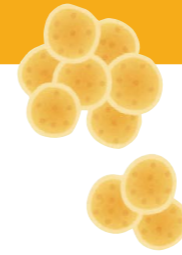
「とびひ」の正式名称は「伝染性膿痂疹(でんせんせいのうかしん)」といい、夏のような暑い時期に発生しやすい病気のことです。

どんな病気?原因は?

とびひは、虫刺されや汗疹の箇所を掻いたり、小さなケガによる皮膚の傷に細菌が入り感染することで発症します。又、掻きむしった手を介して体全体に広がり、水ぶくれやかさぶたのような症状が起きます。主に下記の細菌が傷口に入り込むことで起こる病気です。

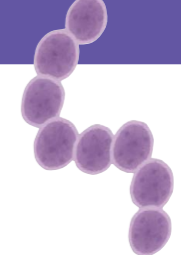


黄色ブドウ球菌



人の皮膚や鼻腔にいる常在菌です。傷口から体内に入り、増殖する際に毒素を出し、これがとびひの原因となります。

溶血性連鎖球菌



人の鼻腔や喉などにいる常在菌です。ブドウ球菌同様に傷口から体内に入ること、とびひ発症の原因になります。

どんな症状?特徴は?

水疱性膿痂疹 すいほうせいのうかしん

皮膚にできた水ぶくれが破れて皮膚がただれてしまいます。痒みを伴い、そこを掻いた手で他の部分に触れてしまうと症状が広がってしまいます。

痂皮性膿痂疹 かひせいのうかしん

一部に膿を持った水ぶくれが厚いかさぶたとなります。炎症が強く、リンパ節が腫れたり、発熱や喉の痛みを伴うこともあります。

病名	水疱性膿痂疹	痂皮性膿痂疹
原因菌	黄色ブドウ球菌	溶血性連鎖球菌
症状	目・鼻・口のまわりから症状が現れ、やがて全身に広がる	全身にできる
発症時期	夏頃が多い	季節に関係なし
発症しやすい年齢	7歳未満の乳幼児	年齢に関係なし

予防法

●皮膚を清潔に保つこと

爪を短く切り、こまめに手洗いをし、清潔にしておきましょう。

●鼻をいじらない

鼻の中には、とびひの原因菌がたくさんいます。鼻を触った手で体を掻くと、とびひにかかる原因にもなるので注意しましょう。



治療法

●抗菌薬の投与

治療には原因となっている細菌に対する抗菌薬の投与を行います。かゆみなどの症状が強い場合は、かゆみを抑える治療も行います。

●早期に治療を行う

ひどくなる前に治療を行う事で、病状をより早く治すことが出来ます。気になる症状がある時は、早めに皮膚科や小児科を受診しましょう。

